

# 平成29年度 事業計画書

社会福祉法人名古屋市昭和区社会福祉協議会

## 平成29年度 事業計画書

### 現状と背景

少子高齢化や人口減少の進展により、家庭や地域、職場におけるつながりが希薄化しているなか、社会的孤立、制度の狭間の問題が顕在化し、これまで家庭や地域、職場で対応されてきた問題の解決が困難になっています。

国においては、団塊の世代が75歳に到達する2025年をめざして、地域包括ケアシステムの構築が進められています。また、高齢者を中心に進められている地域包括ケアシステムを深化させ、障害、児童と分野を超えた全世代全対象型の地域包括ケアシステムへの取り組みも始まっています。

名古屋市においても、平成28年6月より、「新しい総合事業」が実施され、既存の高齢者福祉制度が大きく変化しています。また、平成28年4月の障害者差別解消法の施行をきっかけに、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向けた取り組みや、子ども子育て支援の充実に向けた取り組みも進められています。

このような状況のなか、昭和区社会福祉協議会（以下「本会」という。）は、制度だけでは対応が困難な制度の狭間の問題や社会から排除されやすい人々への支援や、地域で抱えている課題などに、地域住民が気づき、問題解決に取り組めるよう、地域住民と協働して、「個と地域の一体的支援」に取り組み、地域の福祉力の向上をめざします。

### 平成29年度の基本方針

#### ① 【ささえあいの風土づくり、ネットワークづくり】

各学区社会福祉協議会（福祉推進協議会）との連携及び活動支援、福祉教育の推進、昭和区ボランティア連絡協議会との連携及び活動支援、昭和区ボランティアセンターの運営及び生活福祉資金貸付事業による生活困窮者に対する支援等により、地域住民とともに「誰もが誰かの力になれる」住みよい福祉のまちづくりに取り組みます。

平成27年度に策定した「学区社会福祉協議会のあり方についての提言書」に基づき、各学区社会福祉協議会が、ふれあいネットワーク活動や地域ささえあい事業、ふれあい・いきいきサロン事業などの学区社会福祉協議会にふさわしい事業が実施できるよう支援します。

平成29年度末で受託期間が終了する「高齢者はつらつ長寿推進事業」は、今年度予定

されているプロポーザルに向けて準備を進め、継続受託を目指します。

名古屋市からの受託事業である「名古屋市地域支えあい事業」については、地域支えあい事業を実施している6学区への支援を継続し、未実施学区に事業実施に向けた働きかけを行います。団塊の世代をはじめ、幅広い層の活動主体・団体等の参加を得て、住民一人ひとりの個別の生活の困りごとの解決に向けた住民主体の支えあいの活動を進めます。

同様に、名古屋市からの受託事業である「名古屋市高齢者サロンの整備等生活支援推進事業」については、高齢者等が集えるサロン(集いの場)の整備と、サロン活動を実践するキーパーソンの育成や、生活支援のネットワークづくりを進めます。

また、今年度より新たに、子どもの孤食を防止し、子どもが安心して食事ができる「子ども食堂」の円滑な運営に向けた支援に取り組みます。

## ② 【総合支援型社協の推進】

本会では、学区社会福祉協議会の支援やボランティアセンターの運営以外にも、白金児童館、八事福祉会館の指定管理業務、介護保険事業や、いきいき支援センターへの協力などさまざまな事業を実施しており、多様な専門職が在籍し、日々、一人ひとりの利用者の自立にむけた支援を行っています。それぞれの職種の専門性を活かしながら、職員が一体となって「個と地域の一体的支援」に取り組みます。

白金児童館は、昨年度より、「NPO 法人わが家流子育て応援団ふりあん」とともにコンソーシアム(共同事業体)を構成して運営しており、昭和区の子ども・子育ての拠点として、お互いの強みを活かし、子どもの育つ力、子育て力の向上を目指します。また、新たに、高校生の学習継続支援事業を開始し、中学生の学習支援事業の拡充にも取り組みます。

また、八事福祉会館においては、昨年度よりスタートした福祉会館認知症予防事業を、いきいき支援センター及び関係機関等と連携しながら本格実施します。福祉会館認知症予防事業では、高齢者向けの認知症予防プログラムとして認知症予防教室を開催するほか、認知症予防の知識や技能を身につけ、地域でのサロン活動などで広めることをねらいとした認知症リーダー養成講座を実施します。

## ③ 【第3次地域福祉活動計画の推進】

本会では、平成26年度に「誰もが誰かの力になれる地域づくり」をスローガンに、第3次地域福祉活動計画を策定し、これまで、地域住民、関係機関、行政のみなさんとの協働によって事業を進め、平成28年度に、中間評価を行いました。今年度は、中間評価を踏まえて、第3次計画の仕上げに向けて事業を進め、平成30年度に策定予定の第4次計画への準備も進めます。

# 主な事業・活動

## 1 学区社会福祉協議会の支援

| 個別事業計画                      | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標        |
|-----------------------------|---|------------------|
| 学区社会福祉協議会<br>(福祉推進協議会)の活動支援 | 平成27年度策定した「学区社会福祉協議会あり方検討会提言書」に基づき、学区社会福祉協議会がふれあいネットワーク活動、ふれあいいきいきサロン、地域支えあい事業などの事業に取り組みよう支援する。 | ・研修会1回<br>・連絡会1回 |
| 高齢者ふれあい給食サービスの活動支援          | 給食会や配食サービスの実施を通じ、福祉に関する情報提供及び学区関係者との関係づくり、さらに困りごとなどのニーズキャッチに努める。                                | 実施団体への助成         |

## 2 地域福祉活動の推進

| 個別事業計画       | 活動・事業の概要   | 今年度の予定・目標 |
|--------------|--|-----------|
| ふくし教育・担い手づくり |  |           |
| 学校での福祉教育の実施  | 総合的な学習の時間や道徳の授業などに、福祉に関するプログラムの提案やコーディネートをを行う。                   | 通年実施      |
| 福祉教育セミナーの開催  | 学校の教員を主な対象に、事例報告や情報共有の研修会を開催し、福祉教育の意義や効果を伝える。                    | 年1回       |
| ふくし講座の開催     | 学区社会福祉協議会や各種団体の支援・協力のもと、地域の様々な人たちとお互いに福祉を学びあう機会として、「ふくし講座」を開催する。 | 年1回       |
| 担い手養成講座の開催   | サロン活動や生活支援(地域支えあい事業)等で活動するボランティアの養成講座、中高生向けのボランティア講座等を企画、実施する。   | 通年実施      |
| 手話教室の開催      | 手話教室を開催し、手話ボランティアを養成する。  | 年1回       |

| 個別事業計画          |   | 活動・事業の概要 | 今年度の予定・目標              |
|-----------------|---|----------|------------------------|
| 情報発信            |   |          |                        |
| 広報誌(こころんネット)発行  | 区民に福祉や本会の事業に関心を持ってもらうために、よりわかりやすく情報を伝えられるよう紙面の充実を図る。  |          | 年3回発行                  |
| ホームページの運営       | ホームページを運営し、タイムリーな情報発信に努める。携帯電話版の「もばいこころん」を運営し、より身近に情報に接してもらえよう、努める。   |          | ホームページ、もばいこころんの更新      |
| 区内行事への参加        | 区内で行われている各種行事に参加して、区社協をPRする。  |          | 区民まつり、学区毎に実施される行事等への参加 |
| 障害のある人への情報提供    | ボランティアによる「広報なごや」や「こころんネット」の音訳版、点訳版を作成する。  |          | 通年実施                   |
| 子育て見本市の開催       | 子育て家庭を支援するための子ども・子育ての情報発信のイベントを実施する。  |          | 年1回実施予定                |
| 子育てカレンダーの作成     | 子育てネットワークの拡大を目指し、子育て情報を掲載したカレンダーを作成・配布する。   |          | 2か月に1回発行               |
| 防災イベント・防災カフェの実施 | 防災・減災の普及啓発のため、防災イベント、防災カフェを実施する。  |          | 防災イベント年2回              |
| 各種団体助成・支援       |   |          |                        |
| 【新規】各種団体の活動支援   | 共同募金や賛助会費を財源として、各種団体等(児童関係団体、ボランティア団体、心身障害児者団体、低所得世帯)への助成、支援を行う。<br>新たに、通所介護の収益等を財源として、ボランティア団体等の行う地域の福祉ニーズに即した事業への助成制度を創設する。 |          | 通年実施                   |

| 個別事業計画     |   | 活動・事業の概要  |  | 今年度の予定・目標 |
|------------|---|---|--|-----------|
|            | 在宅サービスセンターの管理運営                               | 研修室やボランティアルームなどの貸出を行い、区民の地域福祉活動の推進を図る。  |  | 稼働率80%    |
| 生活困窮者の自立支援 |   |   |  |           |
|            | 【新規】<br>なごや・よりどころサポート事業への参加                   | 名古屋社会福祉協議会が市内の社会福祉法人との協働により進める「なごや・よりどころサポート事業」に参加する。<br>新たに、名古屋市生活困窮者認定就労訓練事業所の認定を受け、引きこもりや就労経験の乏しい人などに中間的就労の場を提供する就労支援事業にも取り組む。   |  | 通年実施      |
|            | 生活福祉資金貸付事業の実施<br>(県社協事業)                      | 相談や資金貸付を通じて、民生委員児童委員とともに、低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯等の自立を支援する。   |  | 通年実施      |
|            | 食糧支援の実施                                       | 総合相談支援を通じて、困窮状態にあり、食料支援が必要であると判断する相談者があった場合に、セカンドハーベスタ名古屋に依頼し、2～3週間程度の食料を提供する。  |  | 通年実施      |
| その他        |   |   |  |           |
|            | 【新規】<br>子ども食堂の支援                              | 月2回以上開催する子ども食堂に対して、一定の条件のもとサロン運営助成金を交付するほか、その他必要な支援を行う。   |  | 通年実施      |
|            | 【新規】<br>はつらつクラブ<br>(はつらつ長寿推進事業)の実施<br>(市受託事業) | 名古屋市内在住の65歳以上の方を対象に、健康体操やレクリエーションなどの活動を通じて介護予防への理解を促し、自主活動や地域活動等への参加促進を図ることを目的に、週4日、昭和区内8会場を巡回して実施する。<br>参加者への情報提供やプログラム内容の工夫により、自主活動や地域活動へつなげ、住民の交流の機会づくりを支援する。<br>新たに「はつらつデー(仮称)」を開催し、参加者と住民の交流の機会を設ける。 |  | 通年実施      |

| 個別事業計画                        | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標  |
|-------------------------------|---|--|
| 地域支えあい事業の実施<br>(市受託事業)        | 地域住民が抱えているちよつとした困りごとを住民相互で助け合う仕組みづくりを推進する。既に事業が行われている学区(滝川、川原、松栄、御器所、白金、村雲)については、地域支えあい連絡会の開催支援や地域住民から選ばれた相談窓口の相談員(ご近所ボランティアコーディネーター)への支援を行う。また、未実施学区への事業実施を勧奨する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支え合い連絡会各学区年3回</li> <li>・研修会</li> </ul>   |
| 高齢者サロンの整備等生活支援推進事業<br>(市受託事業) | 孤立しがちな高齢者等が気軽に集まり、地域住民とともに楽しく過ごすことを通じて、高齢者の生きがいを高め、地域の関係づくりを進めるため、高齢者等サロンの開設、運営を支援する。<br>生活支援サービスの基盤整備とネットワークの構築をめざし、地域課題検討作業部会を開催する。部会では、サロン活動や介護予防の取り組みへの支援と実態把握や、住民同士の助け合い、支え合いによる問題を解決するしくみづくりにも取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体への助成</li> <li>・交流会年2回</li> <li>・たまり場通信年3回</li> <li>・年2回部会</li> <li>・連絡会</li> </ul> |
| 福祉まつりの開催支援                    | 実行委員会と協力し、第35回昭和区の福祉まつりの開催を支援する。開催を通して区民の福祉問題への関心を高め、福祉意識の向上を図る。  | 年1回開催(6月シンポジウム、8月前日祭、本祭り)  |

### 3 ボランティア・市民活動の振興

| 個別事業計画           | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標 |
|------------------|---|-----------|
| ボランティアセンター       |   |           |
| ボランティア情報の収集発信    | なごやボランティア募集情報の活用、掲示板の設置、登録ボランティアへの情報発信などを行う。                                | 通年実施      |
| ボランティアコーディネートの実施 | 区社協ボランティアセンターの広報に努め、ボランティアのコーディネートを行う。また、地域の人材発掘に努め、ボランティアコーディネートの機能の向上を図る。 | 通年実施      |

| 個別事業計画                |                       | 活動・事業の概要  |  | 今年度の予定・目標            |  |
|-----------------------|-----------------------|---|--|----------------------|--|
| ボランティア団体の支援           |                       |   |  |                      |  |
| 昭和区ボランティア連絡協議会の活動支援   | ボランティア連絡協議会           | ボランティア連絡協議会主催の各種事業(市民向け講座、子育て支援イベント、ボランティア向け研修会・交流会の開催、広報誌の発行等)の活動支援を行う。  |  | 通年実施<br>団体への助成       |  |
| おもちゃライブラリーポップの活動支援    | おもちゃライブラリーポップ         | 障がい児の参加呼びかけや、団体・施設への利用PRなどを行います。また、新しいボランティアの拡大を図る。   |  | 毎月1回開催<br>(第3土曜日)    |  |
| 子育て&子育てにこここサロンの活動支援   | 子育て&子育てにこここサロン        | NPO法人と協働で「子育て&子育てにこここサロン」を実施し、安心して子育てのできる環境づくりに取り組む。  |  | 毎月2回開催<br>(第1・第3火曜日) |  |
| 防災・減災の取り組み            |                       |   |  |                      |  |
| ボランティアによる家具固定事業の実施    | ボランティアによる家具固定事業の実施    | ひとり暮らし高齢者等、自身で家具転倒防止金具の取付が困難な家庭でボランティアが家具転倒防止金具を取り付ける。(なごや防災ボランティアネットワーク昭和へ業務委託)  |  | 通年実施<br>年20件         |  |
| 災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催 | 災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催 | 「大規模災害時における昭和区災害ボランティアセンター開設に係る支援協力に関する協定書」に基づき、ボランティア、区内公所(署)職員等を対象に、昭和区ボランティア連絡協議会、なごや防災ボランティアネットワーク昭和の協力を得て、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施する。 |  | 年1回                  |  |

#### 4 総合支援型社協の推進

| 個別事業計画               |                      | 活動・事業の概要  |  | 今年度の予定・目標                            |  |
|----------------------|----------------------|---|--|--------------------------------------|--|
| 職員の資質(専門性)の向上と連携力の強化 | 職員の資質(専門性)の向上と連携力の強化 | 総合支援型社協の実現をめざし、事務局内の「事務局プロジェクトチーム」において、協議、実践する。 |  | 事務局プロジェクトチーム会議、区社協のPR活動、職員班活動、職員全体研修 |  |



| 個別事業計画                       | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標                     |
|------------------------------|---|-------------------------------|
| 通所介護事業の実施                    | 要支援・要介護高齢者等を自宅から送迎し、デイサービスセンターにおいて、機能訓練や入浴、レクリエーションなどを通じて、要介護状態の改善を目指す。 | 通年実施                          |
| 昭和区介護保険事業所(市社協事業)への協力        |   |                               |
| 居宅介護支援事業の実施                  | 要支援・要介護高齢者等のケアプラン作成や要介護認定の申請代行などを行い、一人ひとりのニーズに合った支援を行う。                 | 通年実施                          |
| 訪問介護事業の実施                    | 要支援・要介護高齢者等や障がい者などを対象にホームヘルパーが家庭を訪問し、一人ひとりの自立を支援しながら日常生活上の援助を行う。        | 通年実施                          |
| 昭和区西部いきいき支援センター(市社協受託事業)への協力 |   |                               |
| 地域支援事業の実施                    | 高齢者やその家族に関する総合的な相談・支援を実施する。高齢者虐待や権利擁護に関する相談を実施する。                       | 通年実施                          |
| 介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業の実施     | 指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業(新しい総合事業におけるケアマネジメント)を実施する。                      | 通年実施                          |
| 認知症家族支援事業の実施                 | 認知症家族教室、認知症家族サロン、もの忘れ相談医の専門相談を実施する。                                     | ・家族教室年2回<br>・家族サロン、もの忘れ相談年12回 |
| 認知症初期集中支援チームの設置              | 認知症になっても安心して生活ができる地域を実現するため、認知症の方等を訪問し、初期の支援を包括的、集中的に実施する。              | 通年実施                          |
| 認知症地域支援推進員の配置                | 医療機関、介護サービス事業所や地域の支援機関をつなぐ連携支援や認知症の方やその家族を支援する相談事業等を実施する。               | 通年実施                          |

| 個別事業計画      |                | 活動・事業の概要   |  | 今年度の予定・目標  |  |
|-------------|----------------|--|--|--|--|
|             | 見守り支援事業の実施     | 見守り支援に関する個別ケースの対応や電話による見守り活動を実施する。   |  | 通年実施   |  |
| 八事福祉会館の管理運営 |                |  |  |  |  |
|             | 福祉増進事業の実施      | 趣味の講座や健康教室等を開催するとともに、レクリエーション活動や同好会活動を支援する。<br>また、「懐かし映画会」、「ミニシアター」、「音楽会」等の実施及び健康や生活に関する相談事業を行う。<br>さらに、囲碁将棋室、集会所、浴室等を無料で提供する。 |  | 健康相談月1回<br>電話相談週2回<br>その他相談随時<br>懐かし映画会年5回<br>ミニシアター年5回<br>音楽会等年5回 |  |
|             | 福祉会館認知症予防事業の実施 | いきいき支援センター及び関係機関等と連携しながら、高齢者やその支援者を対象に、認知症予防教室、認知症リーダー養成講座、サロンを実施する。   |  | 予防教室年2回<br>リーダー養成講座年4回<br>サロン年2回                                   |  |
|             | 各種行事の実施        | 「福祉会館まつり」、「新春餅つき大会」、「輪投げ大会」、「囲碁大会」などを開催し、多くの利用者が参加し楽しむ機会を創出する。   |  | 福祉会館まつり年1回<br>新春餅つき大会年1回<br>輪投げ大会年2回<br>囲碁大会年3回                    |  |
|             | 回想法教室の実施       | 認知症予防のための「回想法教室」をはたつクラブや地域のサロンなどで開催する。   |  | 回想法教室年6回   |  |

| 個別事業計画                      | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標   |
|-----------------------------|---|---|
| 白金児童館の管理運営(ころん・ふりあんコンソーシアム) |   |   |
| 【新規】<br>子ども育成活動の実施          | 支援の必要な子どもが安心・安全に過ごせる遊び場①を提供する。<br>各種行事②、クラブ③の実施を通して、子どもの健全育成を図る。<br>子どもが企画運営に参加して、「こどものまち・しらかね」、「クリスマス会」、「児童館まつり」を実施する。<br>中学生・高校生を対象とした「しらかねナイト」④を継続実施し、中学生の学習支援事業⑤は拡充を図る。新たに、高校生の学習継続支援事業に取り組む。 | ①一般利用者数<br>100人/日<br>②75回 1,977人<br>③66回 1,185人<br>④50回 500人<br>⑤4月より52回、7月より40回増 定員12人 |
| 子育て支援活動の実施                  | 「赤ちゃんと二人だけの外出デビューは児童館」を目指す。<br>地域子育て支援拠点事業の会場として「まあまサロン」を常時開放し、専任のスタッフを配置して常時支援できる体制をとる。<br>シアターデビューなどの各種行事①や「リトミック」「おやこたいそ」といったクラブ活動②を実施する。<br>白金保育園や名古屋市子ども・子育て支援センター等との共催事業も積極的に取り組む。          | ①4回 320人<br>②123回 4,094人  |
| 地域福祉促進活動の実施                 | コンソーシアムの相手法人の活動拠点等を活用して移動児童館①を実施し、地域の関係団体との連携作りを進める。<br>大学や地域の方々と連携し、ハロウィンに高齢者宅への訪問活動などを行う「コミュカフェ」②を開催する。<br>「サービスクラス向上委員会」③を開催し、地域住民の意見を取り入れた運営に努める。   | ①21回 630人<br>②5回 100人<br>③年2回   |
| 「どんぐりクラブ」<br>(留守家庭児童クラブ)の実施 | 下校後に保護者が不在となる家庭の小学生を対象に、家庭的な雰囲気の中で健康で情操豊かに過ごせるよう「どんぐりクラブ」(留守家庭児童クラブ)を実施する。  | 定員30名   |

### 5 第3次地域福祉活動計画の発行

| 個別事業計画                 | 活動・事業の概要                                       | 今年度の予定・目標 |
|------------------------|--|-----------|
| 推進プロジェクトチームによる<br>事業推進 | 中間評価をふまえ、第3次活動計画の仕上げとともに、第4次活動計画の策定に向けた準備を進める。 | 通年実施      |

| 個別事業計画                | 活動・事業の概要   | 今年度の予定・目標                   |
|-----------------------|--|-----------------------------|
| <p>こころん支えあいネットの構築</p> | <p>ご近所同士のつながりや支えあいと、学区社会福祉協議会や専門職が連携し合うことで制度やサービスでは補えないことを支えあい、誰もが地域の中で孤立することなく安心して暮らせるよう、「こころん支えあいネット」の構築をめざす。<br/>学区社会福祉協議会を通じて、「ふれあいネットワーク活動」が未実施の学区については、実施勧奨し、すでに「ふれあいネットワーク活動」や、「助け合いの仕組みづくり」に取り組んでいる学区については、それらの活動で把握された災害時要援護者からこころん支えあいネットに広げていく。</p> | <p>ふれあいネットワーク活動の新規実施1学区</p> |
| <p>保健・医療・福祉との連携</p>   | <p>保健・医療・福祉などの専門職によって構成される「セーフティネット委員会」により、保健・医療・福祉のセーフティネットの構築をめざす。また、在宅医療・介護連携会議へ参加し、連携を強化する。</p>  | <p>通年実施</p>                 |

6 その他

| 個別事業計画            | 活動・事業の概要  | 今年度の予定・目標   |
|-------------------|---|-------------|
| <p>自主財源の確保</p>    | <p>賛助会員の募集を行い、引き続き、区社協の自主財源の確保に努める。また、区内の社会福祉事業の財源となる「赤い羽根共同募金」の事務局として募金活動を支援する。</p>  | <p>通年実施</p> |
| <p>各種連絡組織への参加</p> | <p>昭和区内の各連絡組織が、それぞれの分野を超えて連携し、ネットワークを形成していくことをめざす。<br/>①昭和区地域包括ケア推進会議<br/>②昭和区自立支援協議会<br/>③昭和区子育て支援ネットワーク連絡会<br/>④昭和区介護保険関連事業者連絡会<br/>⑤昭和区在宅医療・介護連携会議</p> | <p>通年実施</p> |